

広島県尾道南高等学校 令和7年度 第2回学校運営協議会 会議録

本校の学校運営協議会を次のとおり開催した。

開催日時	令和7年7月25日	開催場所	本校明德蜚舎 明德教室
出席委員	委員氏名（役職）[順不同・敬称略] 小川 長（福山平成大学教授） 杉田 真一（尾道市長江公民館長） 緋田 節子（地域代表） 上川 真二（尾道南高等学校同窓会長） 有田 靖予（尾道南高等学校スクールソーシャルワーカー） 細谷 博美（尾道南高等学校PTA会長）		
会議の概要	1 開会挨拶ならびに近況報告（校長） 2 配布資料の確認ならびにコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けたリーフレットの説明（教頭） ※本校参加者：校長、教頭、事務長、教務主任 3 令和8年度入学生の教育課程（案）について（教務主任による説明） 原案は、承認された。 4 令和8年度採用予定教科書（案）について（教務主任による説明） 原案は、承認された。 5 協議・意見交換 令和8年度の教育課程については、現在の1年次の情報基礎と2年次の明德学の授業を、学びをさらに深化させるために、その基礎になる「読み・書き・コミュニケーション力・情報処理力」を1年次から2年かけて学ぶ原案に賛同が得られた。委員からは、生徒の理解度に応じた自由進度学習やワークショップ形式の授業展開など、授業改善への具体的な意見が出された。例えば、「生徒に学校に喜んで来てもらうために、ポイント制にして楽しみながら学べる工夫をしてはどうか。」「他県の例ではあるが、地域の公民館との協働活動で成功した取組がある。始業前に生徒が興味を持って取り組めるサークル活動等を地域との連携で企画してはどうか。」等、生涯学習の視点で積極的な意見が出された。仮に本校に取り入れるとすれば、現在の人的・物的資源では限りがあり、施設・設備の改善、講師の確保等、さらなる教育行政の援助が必要となる。学校運営協議会として、ソフト面（教育内容）についてはこれまで通り、尾道南高校の取組に期待し、その活動を支援する。ハード面（施設・設備）については、入学予定者数や在校生徒数、その活動状況に応じて適切な整備をしていただくように教育行政担当者にも働きかけていく尾道南高校の取組を支援する。 6 閉会挨拶（校長）		
次回開催予定日	令和7年10月（詳細は別途調整）		